

令和6年度第3回  
新宿区外部評価委員会第1部会 会議概要

＜開催日＞

令和6年8月20日（火）

＜場所＞

本庁舎6階 第3委員会室

＜出席者＞

外部評価委員（5名）

竹内真雄、戎井一憲、風間義民、大川内初実、大西秀明

区職員（2名）

西澤副参事（特命担当）、甲斐主査

＜開会＞

【部会長】

時間になりました、ただいまから第3回新宿区外部評価委員会第1部会を開催します。

本日は評価の取りまとめとして、計画事業の評価、経常事業に対する意見を取りまとめ、それらを踏まえ、個別施策の評価結果を取りまとめます。

それでは、議事に入る前に本日の配付資料の確認をお願いします。

【事務局】

では、事務局からご説明します。一番上が本日の次第です。その下が、本日の議論の材料にします外部評価チェックシートです。個別施策ごとに取りまとめているので、Ⅱ-3、Ⅲ-1、Ⅲ-2、Ⅲ-5と4つ配付されていると思います。あとは、先ほど追加でお配りしました、新型コロナウイルス感染症への対応というA4横の資料、以上が本日の配付資料です。過不足等ありませんでしょうか。

ありがとうございました。

【部会長】

それでは、評価の取りまとめを行いたいと思います。事前に私のほうから配付させていただいた部会としての評価書、チェックシートの取りまとめについてという紙を見ていただければと思います。現在、事務局のほうで5人の委員の意見を表記していただいているんですが、こちらを部会の意見として取りまとめる際に、こういった方針で取りまとめるのはどうかというものを作っていました。

評価は5人の委員の多数決を基本として、一番多かった評価を基本にする。また、評価理由は部会としての結論を書くため、各委員が個人で判断を下す過程の表現、例えば説明でよ

く分かったとか、こう書いてあったから評価するといったような、記載事項の確認等は省略したいと思います。また、今後の取組の方向性に対する意見ですが、部会としての意見のため、5人の意見、ひいては委員会15人全体の意見として取られますので、個人的な意見と思われるものは省略したいと思います。その他意見・感想についても、部会として提出するため、個人的な意見と思われるものは省略したいと思います。

また、記載した事項については全て関連部署が対応する必要があるため、私も結構書いているんですが、このまま進めてくださいですか、今後も期待しますといった、そういった定例的な挨拶のようなものは省略したいと思います。また、重複している記載は一本化してスリム化を図っていければと思います。あと、質問を記載しているものもあるんですが、これは評価書チェックシートには記載せずに、事務局を通じて所管課の方に質問していただいて、回答をいただければと思います。

それでは、委員の皆様には配られていますチェックシートには各委員の評価や意見が記載されていますので、これを基に部会としての評価の取りまとめを行います。指名された委員は、ご自身の評価や意見、補足説明等をお願いします。評価の取りまとめは個別施策ごとに行います。初めに計画事業について、計画番号順に評価の取りまとめを行います。その次に、経常事業については意見があった事業について、番号順に意見の取りまとめを行います。最後に個別施策について評価の取りまとめを行います。それでは、始めたいと思います。

では、最初の個別施策Ⅱ-3「暮らしやすい安全で安心なまちの実現②感染症の予防と拡大防止」について、記載内容を確認します。最初に、評価のほうは5人ともおおむね順調に進んでいるとしているので、これはおおむね順調に進んでいるにしたいと思います。特にご意見ないでしょうか。

全体的なことを書いていらっしゃるのが4人で、大体の大枠は同じかと思います。5月8日から5類になったためか、気の緩みが気になりますという意見があり、これを残すかどうか、評価というより、今後の方向性に対する意見に回すとか。

#### 【委員】

その振り分けが、自分の意見をどこに書こうかというのを結構迷ったものも幾つもあったので、そこら辺は今回ここで修正なり訂正をさせていただきたいと思います。

#### 【部会長】

ありがとうございます。評価の欄には全体的なことを書かせていただいて、今後の方向性に対する取組も、大体一まとめにできるのと、委員の2つ目の意見、トイレ使用後の手洗いについても残す方向でいいでしょうか。トイレ使用後に手を洗わない方の増加があるので、普及啓発が必要と思われますと。全体的なことを、ほかの4人の意見を圧縮して、それにトイレのことを書く感じで行ければと思います。

あとは、その他意見・感想で、ご質問のような感じのことが書いてある。これは地域の人口比を考慮されての結果でしょうかというのは、事務局のほうからご回答いただく形よろしいでしょうか。

**【事務局】**

担当部署にこの部分を確認しましたので、私のほうから回答させていただきたいと思えます。こちらのご質問の内容としては、区政モニターアンケートの属性について、居住地域によって差があるのではないかと、3 倍近く開いているところもありますというところで、これは人口比を考慮されての結果でしょうかというところでのご質問でございます。

結論としては、人口比に基づいて、まず無作為抽出をして、あとはそれぞれの地域、人口比で割って依頼をさせていただいて、大体 5,000 人ぐらいに依頼をさせていただいて、大体 1,000 人から回答が来るという形になっています。皆さんに以前お配りしたモニターアンケートの報告書のほうにも属性の割合を書いているんですけども、大体このような大体人口比になっていましたので、それがそのまま反映されているという形になっております。

以上です。

**【部会長】**

ありがとうございます。

Ⅱ-3 については、この方向でよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

続いて、3 ページ、計画事業 37 の「新型インフルエンザ対策の推進」なんですけど、こちらは 5 人とも計画どおりとなっておりますので、計画どおりという評価にしたいと思います。

また、評価についても、おおむね一つにまとめられる内容ではないかと思うので、事務局のほうでまとめていただければと思います。

あと、今後の取組に対する方向性ですが、委員の記載内容、記述が曖昧な表現だと感じます。すごく有益な話だと思うんですけども、今後の取組に対する方向性じゃないので、その他意見の欄に回してよろしいですか。あとは、顎マスクの話ですが、顎マスクとか具体的なものを出さずに、普及啓発を進めてもらいたいとかいう感じでよろしいでしょうか。

**【事務局】**

事務局から提案なんですけれども、そのご意見、施策の評価のところでも、普及啓発をいろいろな方面でしっかりやってほしいというご意見が複数箇所に出てきているかと思うんです。ですので、この後事務局で、そういった普及啓発という大きな塊を作り、その中に取り込むのはいかがでしょうか。記載場所は、施策なのか、あるいは新型インフルエンザなのか、はたまたそうじゃないのかというのは、事務局と部会長のほうで調整させていただいて、生かさせていただくというのでいかがですかね。

**【委員】**

ぜひお任せさせていただければと思います。よろしく願いいたします。

**【部会長】**

ありがとうございます。

**【事務局】**

委員の今のところなんですけれども、全体的な意見としてまとめさせていただくと、よりご意向がクリアになるのかなと思います。実はほかの部会でも、特に経常事業のシートが、提供している情報がすごく限定的で、なかなか評価するのがしんどかったというご意見を出された委員さんもいらっしゃって、そういう意見と一緒にさせていただくようなのはいかがでしょうか。

【委員】

分かりました、大丈夫です。

【事務局】

先生、そんな感じでお願いします。

【部会長】

その他意見・感想に移りまして、引き続きやってくださいとか、ありがとうございますみたいな感じなので、こちらのほうは、よければ省略させていただいて、あと、「予算現額や事業経費と違うところが幾つかございます」、こちらも所管部署に質問の形でよろしいでしょうか。

【事務局】

前の説明と重複してしまうところがあるんですけれども、当初お配りした資料は、まだ決算が確定していない段階で作成していたので、未確定の数字がたくさん載ってしまっていたんですね。ヒアリングのときに更新版としてお配りしたものが決算実績を踏まえたものに更新されていて、そこで数字の新旧が発生しているという現状でして、そこは評価させていただくに当たってはちょっと混乱をされたかもしれません。申し訳ありません。なので、今お渡ししたものが決算実績を踏まえた確かな数が入った、正しいものになっているとご理解いただければと思います。

【部会長】

ありがとうございます。

続いて、5ページ目にいっていただいて、経常事業390の「感染症予防法令に基づくまん延防止対策及び健康診断等」なんですけど、こちらは、お二人の意見があるんですけれども、ちょっと個人的に思ったのは、風俗店という言い方はちょっと何か、歓楽街とかいう言い方にぼかしたらどうかと思ひまして。

【委員】

お任せします。

【部会長】

世界有数の歓楽街を有しとか、ちょっと何か表現を工夫したい。複雑なのが、一般的に風俗店というと、そういうところと分かるんですけれども、飲み屋さんとかも風俗営業法上の風俗店になっちゃうから、難しいところがございます。あと、委員が書かれている意見については、29人が3回見たというより、98人見て、そのうち29人申し込んだのかなとちょっと思ったんですけれども。

**【委員】**

閲覧回数が 98 回だったんですけれども、申込みが 29 人という数字だったので、内容がよいから、何回も同じ方が見たのかなと。ただ、29 人しか申し込まなかったというのがもったいないかなと思っているので、それを周知して、もっといろいろな方に見てもらいたいかなと。それがいいのかな、それとも、私のこの解釈が間違っているのかな。

**【部会長】**

私、ちょっと 1 人 1 回という頭があったかもしれないんですけれども、98 人の人が 1 回ずつ見て、そのうち 98 のうち 29 人が申し込んだのかなと思ったんですけれども。

**【委員】**

確かに、申込みが 29 人で、閲覧回数 98 と書いていますね。これは講演会というくりになってはいますが、中身は動画公開期間で 2 月 19 から 22 日となっているので、今から見ると、どういう講演会なのか、動画を回しているところに誰か入ってきたのかとかイメージがちょっと湧かないですね。

何かもったいないなと思って、動画作成だってコストがかかるわけなので、ちょっとそこを知りたかったです。

**【事務局】**

事務局からなんですけど、これはオンライン動画配信の形での講演会のようにして、配った資料の中に、これですね、ちょっと説明が分かりづらくて申し訳ありません。なので、委員がおっしゃったとおり、この計算でいいんだろうと思います。

**【委員】**

合っているんですか。要は QR コードから申し込んで、URL を送るんですよね。

**【事務局】**

そうなんです、申し込んだ人しか見られないようになっているはずですから、29 人が 98 回見たという推論が成り立ちますね。

**【委員】**

ちょっとそこが疑問だったんですけれども。これを、例えばこの QR コードで申し込まなくても、これで即、動画に誘導とかというのは何か問題があったんですかね。

**【委員】**

これは個人ベースの申込みということなんですよ。どこか団体が申し込んで、30 人で一緒に見るとかということはないかなということをおっしゃっているんですよ。

**【委員】**

そうですね、区内在住、在勤、在学の方対象という形ですから、個人ベースで考えていると。

**【委員】**

確かに区がやっている事業で 29 名は少な過ぎますね。

**【委員】**

1 か月ぐらい期間があるので、何でかなとちょっと疑問に思ったんですけども。

【部会長】

3 回動画を見るというのもあんまりないですよ。

【委員】

そうですね、普通は 1 回ですよ。

【部会長】

こちらの実態を所管に確認してできるでしょうか。技術的な話なのか、ちょっと分かりませんが。延べ何人、述べというカウントかちょっと。

【事務局】

承知しました。数の兼ね合いのところを確認させていただいて、その結果を踏まえた上で取りまとめを作らせていただくと。

【部会長】

ありがとうございました。

その下の 391 の予防接種ですが、ちょっと質問っぽい意見になっていまして、対象を把握できていないのがなぜかというのをちょっと確認いただいて。

【事務局】

65 歳以上の接種対象者というのは年齢だけで区切っているのですが、対象人数が明確なのですが、60 から 64 歳の人には、基礎疾患を持っている方という条件がついていて、この基礎疾患は BMI 30 の人も含むような広い捉え方をするので、事前に人数確定することができなかったとのことです。年齢で区切って全員にご案内を送って、それを見て、該当する人は手を挙げてくれというご案内の仕方をしたとのことです。

【委員】

じゃ、把握できなくて当然ですね。分かりました。ありがとうございます。

【部会長】

ありがとうございました。よく分かりました。

続いて、6 ページ目、食品衛生の普及啓発なんですけど、こちらにもいろいろご意見がありますね。こちらにも基本的にまとめて整理する形で、内容を生かす形でよろしいでしょうか。ちょっとまとめづらいかもしれない。「複数回発信したらどうかとの意見に賛成します」というのは、前回のやり取りの中での流れだから、その辺はちょっと文言を調整してという形で。

【事務局】

そうですね、今この場で取りまとめないものだけ決めていただければ、あとは事務局で頑張ってまとめたいと思います。基本的には普及啓発をしっかりやろうという大きな流れの中でご意見いただいているので、その普及啓発、具体的な提案を含め、意見としてまとめられればいいのかと思います。

【委員】

食品衛生の食中毒の問題ですけども、保存方法と取扱いとありますけれども、保存方法

が結構大きな要因を占めているようなニュアンスなんですね。やはり集団食中毒が発生したとか、いろいろしたときに、やっぱり温度管理とかそういうものが重要だということで、そういうのをちょっと怠ってしまうところにそういう食中毒の、O-157をはじめいろいろな食中毒が発生しているようですので、そういうのをに入れていただければと思います。

【事務局】

取りまとめのときに保存を項目出しするような形ですかね、保存方法とかいう感じで。

【委員】

そうですね。

【部会長】

法律作ったときは地産地消が当たり前のような感じのときに法律ができていまして、今は北海道でできた野菜を東北でお弁当にして、それをトラックで埼玉に送って、埼玉で仕分けて並ぶというような、どこで駄目になったか分からないような感じで、難しいんですよね。

ありがとうございます。そんな感じでちょっと取りまとめをしていただければと思います。Ⅱ-3はこういった感じでよろしいでしょうか。

【事務局】

すみません、今のⅡ-3のところ、2ページ目なんですけれども、その他意見・感想の2個目の意見をどう扱うか、確認しておきたいと思います。最後、経済的な軽減措置対策も必要というくだりなんですけれども、これはどうしますかね。

前段のところは普及啓発というところで取り込めるのかなとは考えますけれども、一番最後の経済的な軽減措置対策というのは、ワクチンに対する補助はもうやっていますので。

【委員】

そうですね、そういうのもありますけれども、コロナに関しては10月からまた案内書を送って、希望者に対して云々というのがありましたけれども、肺炎球菌ワクチン、1回目は65歳で案内書が来て、補助金があるんですが、2回目からはないんですね。いろいろなワクチンに対して、そういう何か軽減措置みたいなものはないのだろうかという。経済的な負担が重くてなかなか打てないという方もいらっしゃるのではないかなということで、そういうのも含めてちょっと検討していただきたいという意味で書かせてもらいました。

【委員】

带状疱疹ワクチンも、あれはこの軽減措置が適用されていましたね。新宿区が半分出してくれていましたね、2万円を半分。ですから、そうやって経済措置をやっているものもあるんじゃないでしょうかね。

【部会長】

事務局としては、必要と考えます、という言い方が、今やってないみたいに受け取られるのをご懸念されている感じでしょうか。

【事務局】

そうですね、有効なやり取りになるようにするにはどうしたらいいかなと思っていたん

ですけれども、5 ページ目の経常事業 390 の予防接種のところさらに具体的に書かれていますね。こっちを生かして、施策のほうからは消したほうがすっきりするかもしれないですね。それでいかがでしょうか。

【部会長】

それでよろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【部会長】

ありがとうございます。それでお願いできればと思います。

Ⅲ-1 のほうに戻りまして、こちらのほうも 5 人とも、おおむね順調に進んでいると評価されていまして、あと、こちらも大体取りまとめができる内容なので、できるだけスリム化し、個別の事業名をあまり出さない形でまとめるということで、いいでしょうか、事務局の方、そのような形で進めていただければと思います。

【事務局】

事務局からご提案ですけれども、先に計画事業と経常事業の評価を固めて、最後に個別施策を評価されるとスムーズと思われまので、いかがでしょうか。

【部会長】

ありがとうございます。じゃ、Ⅲ-1、4 ページ目のほうにいただければと思います。39 の①「新宿駅直近地区のまちづくり」について、5 人中 5 人が計画どおりで意見が一致しております、これも一まとめにできる内容かと思えます。

取組に対する意見も、私も定例的なものの典型で、「調整、手続を進めていただければと思います」なんです、他の意見も「期待します」というものが多いので、取組に対する方向性は、もう空白でもいいかなと思います。

その他意見・感想の意見も、そのままやっていただければという感じの意見なので、省略して、すっきりした形にさせていただければと思います。

そうしたら、6 ページに目にいきまして 39 の②「新宿駅東西自由通路の整備」ですが、これも 5 人とも計画どおりとなっていて、計画どおりにしたいと思います。評価も一まとめにできる内容なので、そうしていただければと思います。

取組に対する方向性は、出ている意見はいい意見だと思うので残して、その他意見・感想は、2 つ出ている意見を一まとめにして、まちの回遊性の向上をお願いしますというような形でまとめさせていただければと思います。

続いて、7 ページ目について、39 の③「新宿通りモール化」ですが、こちらは 4 人が計画どおりで、1 人が計画以下とされています。質問といいますか、執行率のことを問題にされていますので、これは質問を所管課のほうにさせていただいていいでしょうか。

【事務局】

82 万円の予算に対して執行が 2 万 8,000 円で 3.4%という。恐らく、何かやるとなった

らできるような予算を持っていたけれども、やらなかったというということだと思いますが、確認させていただきます。

**【委員】**

ここにも書かせてもらいましたけれども、新宿のこのモール化というのは、伊勢丹があるあの通りで、それこそ新宿の顔ともいえるべき、紀伊国屋をはじめ、中村屋さんとか、いろいろなそういう老舗のお店があるもので、あそこを本当にモール化に取り組んでいただいて、できれば歩行者天国といいますか、今も来るときにちょっと見たんですけれども、やはり荷さばきなのか、路上駐車が大変多いなと感じたりもしております。そういうことで、今頃荷さばきルールを策定しているようではちょっと遅いなと感じましたので、また、ここに、いろいろ取組に対しても、進展がはっきりしていないのではないかという、そういう疑念もあったので、ちょっと計画以下ではないかなというふうに評価させていただきました。

**【委員】**

今のご意見を聞くと、なるほどなと思います。この定義が難しいですね。計画どおりという言葉と、計画以下とありますけれども、計画以下というのは50%以下というか、半分以下なのか、計画どおりというのは50%以上できていけばいいのか、その辺の、パーセンテージは別として、個人によって言葉の定義が、解釈が違いますよね。ですから今おっしゃられたのは、感覚では半分以下だと思われているというのは、計画以下の定義が50%以下だからと思っらっしゃるからだと思うんですけれども。ただ、できている部分もあるというところですね。だから、その辺の兼ね合い、合計値というか、それなんじゃないかな。荷さばきの点は確かに難しいけれども。

**【委員】**

この指標の100%というのが、これが目標値50、実績値50というのは、この左側に書いてありますように、実施した荷さばき集約化に関する社会実験の実施を行った時点で50%の、この50じゃないかと私は理解しているんですけれども。ですから、社会実験を行ったので100%ということなのか、それとも、社会実験って何なんだろうかと、やっぱりモール化に向けて取り組んでいくには当然、社会実験も必要でしょうけれども、もっとその先の見えるものがあれば、計画どおりとしたかったなと思うんですけれども。

以上です。

**【部会長】**

単位が書いていないから分かりづらい。50%で、R5年度の時点では社会実験が終わっていれば十分だと区役所が思っていて、終わっているから100点でしょうというんですけれども、3年連続50、50、50で達成度は100というのは、ちょっと指標として分かりづらいのは確かにある気がします。

**【委員】**

前回僕もちゃんと見ていなかったんですけれども、多分、全体の計画がもっと長いスパンであって、ここ直近何年かは荷さばきのことを、3年なのか5年なのか、やり続けるという

ことなんでしょうかね。こっちの資料もついていますが、最終更新日が2021年なんですよね。実績も元年度までしかホームページにアップされていないようなので。全体の計画を教えていただければ、もう少し全体が理解できるかなという感じがします。

【委員】

そうですね、目標がきちんと、何年度までにこれだけするというしっかりした目標があればいいんですけども。

【委員】

もしかしたら、あと5年、ずっと荷さばきルールに関する取組が続くのかも分からないですよ。

【部会長】

それだとあまり評価する意味ないですよ。引き続き荷さばきルールに関する取組をやっているから、今年も来年も100点ですよ。

【事務局】

今評価していただいているのは令和5年度実績で、第二次実行計画最終年度です。6年度以降は紫の第三次実行計画で、82ページが新宿通りモール関連事業説明になっていて、あまり情報量が多くないところでして、次に見ていただきたいのが、160ページ、161ページの見開きが指標の目標値を記載しているページなんですけれども、こちらの真ん中辺り、32の②で新宿通りモール化というのがあって、事業進捗率の定義を、第二次実行計画と少し変えているんですけれども、意味合いを見ていくと、令和6年度末が10%の車両流入抑制に向けた検討、令和7年度が荷さばきに関する地元ルールの導入、8、9はそのまま、次の段階にはまだ行けないという目標設定にしていると。次の50%が歩道の部分拡幅整備なんですけれども、ここまでは令和9年度末には達成できないであろうという目標設定をしています。

【委員】

ということは、現段階では計画どおりになってしまうということですよ。

【事務局】

そうなんです。当初定めた目標に対する達成度がどうであったかという意味では、計画どおりになりますが、そもそもその目標が適切なのかとか、そのあたりのご意見をいただくと良いのかなという気がしました。

【委員】

何かうまくいかない理由があるんじゃないですかね、数字が低いというのは。

【事務局】

この辺の事業はあくまで地元ありきの事業なので、地元の合意がなければ全く進まないものですから、恐らくそういったところに原因があるのではないかと、いろいろな方のいろいろなご意向があるかと思っております。

【部会長】

評価は計画どおりにして、ちょっと物差しがおかしいんじゃないかみたいなのをその他意見・感想で書く感じでよろしいでしょうか。これだともう進捗はR3、R4、R5、全部、100、100、100 となっていると、進んでいるのか進んでいないのか、ちょっと分からないような感じですね。

**【委員】**

ちょっと余計なことですが、今、先生がおっしゃられた、物差しがという意見もありますが、さっき事務局が言われたように、できない理由、地域との調整が必要だとかという理由があるので設定値が低くならざるを得ないとか、何かそういうほうが、物差しを否定するよりは、何がその障壁となっているのかを明確にしてほしいとか、そっこのほうが区民が読んだときに分かりやすいんじゃないですかね。

**【事務局】**

そうしましたら、評価としては計画どおりにするけれども、そもそもあまり進捗しているように資料等からは見られないというところを指摘していただいて、ちゃんと見えるような説明が要る、あるいは目標がなかなか設定できないんだったらその理由を示すなど、もっと分かりやすく情報を提供するべきではないだろうかみたいな、そんな意見を今後の取組の方向性に対する意見でいただくということではいかがでしょうか。

**【部会長】**

それをお願いします。

**【事務局】**

承知しました。

**【部会長】**

ちょっと私の懸念なんですけれども、その他の意見・感想で、新宿の顔と書きちゃっているのが、人によって意見が違うかもしれないので。

**【事務局】**

そこはうまいことまとめておきます。

**【部会長】**

もう一つ、「危険ですので安全のため取締り強化をお願いします」というのが、警察のほうになっちゃうかなと若干思ったりして、ここで書くべきかというのが。

**【委員】**

そう言われると。自転車の通行も多かった時期がかなり昔はあったので、警察の方が分からないんですけれども、結構、自転車乗らないでねという取締りをしていた方もいたり、あと、大道芸みたいな見せるのをやっている方も昔は結構いて、今はもうほとんどいなくなったんですけれども、ただ、やっぱり自転車に関しては今でも通行を見かけるんですね。なので、ちょっと危険だなとやっぱり思っていて、これを、例えば警察じゃなくて、もし何か案内、パンフレットとか観光客向けのものがあれば、そこにそういう注意事項みたいな形で普及啓発をしていただければなと思います。

【部会長】

取締役じゃなくて取組の推進とか、ちょっとぼかして。必要性はすごく分かります。

【事務局】

部会長が心配されているのは、今そこに走っている自転車への対処となると、どうしても交通規制とか警察とかそっちの話になっちゃって、この事業からは少し離れてしまうんじゃないかというご懸念ですよね。危険な自転車の走行があるという事実を踏まえて、例えば、そういった危険から歩行者を守るような観点も踏まえてこの事業をしっかりとやっていくみたいな、ここの考え方の中にそういう自転車の危険性を取り込んだような感じで、ちゃんとやってねというご意見だったら、この事業とすごくマッチするのかなと思いましたが、いかがですかね。

【部会長】

整備推進に当たってこういう面も考慮していただきたいみたいなのを、意見だとか感想のほうに入れられればと。

【委員】

ぜひお願いします。

【部会長】

ありがとうございます。

じゃ、これで8ページの39の④にいただければと思います。これはお一人が計画どおりとしていらして、計画以下が4人という形になっていて。

【委員】

サブナードのことですよね、これ。私としては結構整備されているなど、甘いかもしれませんが、全体の流れとしては、100%とはいえないけれども、8割ぐらいは目標に対して、できているのかなと思ったので、これは私の意見で、皆さんの意見を聞いて、計画以下というのであれば、多数決というさっきの先生の方針ですので、計画以下でも構わないです。

【委員】

内部評価においても計画以下になっているので。サブナードは今のところいいんですけども、今のところよりももっと明治通りまでずっと掘り進むということに対しての計画なんですね。それがそこで止まっちゃっているんで、進んでいないので、それに対して計画以下なのかどうなのかということなので、私は計画以下とせざるを得ないので。

【委員】

じゃ、私も計画以下で。

【部会長】

9ページの取組の方向性は、大体皆さん、私も含めて、このままやってくださいという定例的な感じなので。ただ、「事業手法の検討を進めるとのことから、具体的な指標の見直しや改善が必要と思われます」という意見が出ていますね。

**【委員】**

たしか説明の中に、取組というか話合いがうまくいってなくて、駄目になったというようなことが書いてあったと思うんですけども、やっぱりその理由ですね、そういうのを知りたいというのと、もしかしたら地元のほうでサブナードの延伸は必要ないというふうに考えているものなのか、もっと奥までつなげれば大変便利でいいんですけども、もう一回見直す必要があるものなのかどうか、そこらをちょっと知りたいなというものもありますね。

**【部会長】**

今のお話を所管課のほうに投げかけて、ご回答いただいでいいでしょうか。

**【事務局】**

そういう問いかける意見をここに載せるというよりは、事前に質問する感じにしますか。

**【部会長】**

質問で回答をもらう形でよろしいでしょうか、ここに載せなくてもというか。多分、相手があるからあまり載せると、関係が悪化しちゃうかもしれない。

**【委員】**

それもあってでしょうね。

**【部会長】**

私もちょっと、ここの事業化に向けた検討をしたら 10%で、こうしたら 30%で、30%まで行くつもりだったけれども 10%だから 33.3%、やっぱ分かりづらいというか、勝手に自分たちで評価して、10%、30%と定義も自分たちでして、30%行く予定だったけれども 10%だから 33.3 って、分母も分子も自分たちが言っているから、ちょっと意味が分からなくなっている感じがいたします。

**【委員】**

ということは、関係機関との合意ができなかったということなんですね。

**【部会長】**

できなかったとか、そういうのに 30%の予定だったけれども 10%だから 33.3 って、何か分数の計算して遊んでいるような感じがします。

**【委員】**

これに関して、ここでも記載したんですが、花園神社近くのビルの建替えが完了しちゃったじゃないですか。なので、ちょっと私もこれは計画の見直しをと書きちゃったんですね。恐らくですけども、推測としては、そのビルを建て替えるときに、1階のところを地下に潜れる、サブナードの入口を作るとかの計画を一緒に含めていたのかなという勝手な推測をしていたんです。沿道建築物の更新に合わせてと資料には書いてあったので、そうすると、もう不可能じゃないかと思ってしまったんです。新宿三丁目の都営新宿線に行く手前の伊勢丹のところから曲がれるように、地下になっていて、区役所の第二分庁舎のほうまで恐らく真っすぐ行っていると思うんですね。だから、あそこにぶつけるつもりだったのかなと思

ったんですけれども、そうすると、出口がそこはなくても、近くにほかのビルにあるので、可能は可能かなとは思いますが、合意ってすごく難しいと思うんですよね、相手様がいるので。だから、そこを地元の人たちがどう考えているのか、今どこら辺まで検討というのか話し合いが進んでいるのかも、ちょっと教えていただけるといいかなと思いました。すみません、これは質問です。

【部会長】

聞いて、ご回答いただければ、特に載せなくても大丈夫ですか。

【委員】

はい。

【部会長】

その他意見・感想、意見は、どうしようかなという感じですが。最終的に委員会の意見なのに、感じていますというのはちょっとおかしいから、重要だと思いますとか、ちょっと違う言い方で。「日本を代表するにぎわいと歩きたくなるまちづくり推進」が括弧になっているのは、どこかに固有名詞みたいな感じで出てくるのでしょうか。

【委員】

はい。

【部会長】

感じていますというのは、何か表現を変えて、重要なので進めてくださいとか。

【事務局】

大事な事業なので着実に進めてほしいみたいな。これをその他意見のところに載せますかね。というのは、すみません、多分、返答としては、引き続きしっかりやってまいりますという返事ぐらいしか書きようがないかなと思うんですね。

【部会長】

私も定例的なのは省こうと言ったのが、多分役所だと、続けてくださいというのが行くと、引き続き進めてまいりますという一文を書いて終わりだなという、儀礼的な感じのやり取りになっちゃうかと。ここも儀礼的かもしれませんが、載せるだけ載せてもらっていいでしょうか。委員として大事だと感じている人がいるというので。

10 ページ目にいただいて、こちらは1人が計画以下と評価されていて、ほかの4人は計画どおりと評価しているんですが、確かにこれはゼロ%なのに計画どおりというのは、ちょっと違和感があるところはあるんです。私、11 ページ目に書かせていただいているんですけれども、その他意見・感想で、毎年1件ペースで計画を出していて、たまたま前の年で3件ヒットしちゃったから、もう次の年、ゼロ件でというのは、ちょっと設定が悪い気がしてまして、それで、委員が計画以下とされているのもすごくよく分かる感じです。ただ、これももう物差しができちゃった後だから、というのはちょっと難しいところが。

【委員】

私もこれはちょっと迷った部分があるんです。ゼロ%という部分で、この評価でいいのか

とは思ったんですが、前回の話では、地元組織と調整し、関係者の意向把握を行いましたということで、全くやってはいないという部分を含めて、一応、計画どおりというふうにしたんですが、計画以下という評価でも致し方ないかなとはちょっと思っています。

**【事務局】**

今のご指摘の関係なんですけれども、第三次実行計画でどうしているかなと今見てみたら、先生が言ったとおりの指標に改めていますね。累積値で目標設定する、160 ページ、161 ページの見開きなんですけれども、こちらの 32 の④が今見ていただいている事業の第三次実行計画の指標なんですけれども、地区数ということで、累積の指標、目標値を設定して、23、24、25、26 と、確かにこっちのほうがいいですね。前倒しで達成した実績もちゃんと正當に評価できるといいますか。

**【部会長】**

私のほうも指摘はしているけれども、新しい計画で直っているのだと、指摘は不要ですかね。

**【事務局】**

どちらでも。ご指摘いただいて、そういった考えも踏まえてしっかりやっていますとお返事をさせていただくのもありますし。

**【部会長】**

ではこのまま残してください。取りあえず今回のこの場では、計画どおりにするか計画以下にするかですけれども、去年が 300%と言われて、今年ゼロ%にしているのに計画どおりというのは、やっぱりちょっと変な感じはするんですが。計画どおりと言われれば……。

**【委員】**

この累積に対しての実績値はどうなっているんですかね。

**【事務局】**

令和 6 年度なので、まだ実績は上がってない。

5 年度末時点では 22 地区というのが累積実績として。

**【委員】**

そうすると、22 地区について、やっぱり達成度ゼロというのは変わらないわけですね。

**【事務局】**

22 地区というのは達成した実績で、目標ではない。

**【委員】**

だから、達成度が分からないですね、22 に対する。

**【事務局】**

22 が分子なら、分母は何なんだということですか。

**【委員】**

はい。

**【事務局】**

それは、令和5年度段階では累積の数値は存在していなかったもので、その割り算はできなかつたんです。

**【委員】**

そうしたら、先生、こうしたらどうですか、ご指摘のとおり、累積値に変えているけれども、まだ実績値が評価されていないわけでしょう。

**【事務局】**

すみません、私の説明がよくなかつたです。令和5年度については単年度の目標設定をしていて、それに対して令和5年度だけ見るとゼロでしたというのが実績です。ただ、令和4年度のほうで目標1に対して3という実績があつて、その反動ではないかという見方もできると。累積値で指標を設定していれば、こういった議論は発生せずに済んだんじゃないかというのが先生のご指摘です。

**【部会長】**

計画どおりにして、あと、コメントで、ちょっとおかしいんじゃないという感じにとどめるのもいいでしょうか。指標がおかしいというのは多分全員、何かちょっとおかしいと思っている感じはすると思うので、ちょっとこのときの物差しが単年度だから、確かに計画どおりだけれども、ちょっと物差しのほうがおかしいんじゃないかという感じで。直っていないんだと、がんがん言ったほうがいいですけども、新しいもので直っているんだつたら、あまり指摘してもという感じも。

**【委員】**

この目標値の1というのは、1件という意味ですかね。このまちづくりを進めていくのに、まちづくりルールを策定したりするのに、年に1件でいいのと、年に3件ぐらいは、前の年の300%じゃないですけども、そういう規則的なものというのはどんどん推し進めていかないと、まちが変わっていかないんじゃないのと。年に1件に対して、1件できたから100%というのは、向こう10年、20年、30年たつうちに、早く進めてよという感じではないかなと思うんですけどもね。

**【委員】**

毎年1件というのは令和9年まで、毎年1件ずつになっていますね、これを見ると。だから、目標を決めた時点で目標値が低いから、私たち、今年から評価する身になってみると、過去の目標値が低いから、あまり議論しても意味がないというか。

**【委員】**

好意的に考えると、資料を見ると、複数回懇談会とかやって、検討会やっていらつしゃつて、まちづくりに対して、10地区欲しいんだけども、区役所の人員のキャパとか、関係者を集める労力とかが年間10件するキャパがあるかとか、そういうことの兼ね合いもあると思う。なので、これはちょっとこの場だけでは何とも言えないですよ。

**【委員】**

結果は1件だけれども、今、委員がおつしゃつたように、プロセスとかそれに至る労力

は、努力しているということなんじゃないですかね、区の方は。確かに1件は少ないとおっしゃられれば、私も少ないと思いますけれども、区の方は努力しているんじゃないでしょうか。

【委員】

資料を見たら、西新宿1丁目商店街地区とか、西新宿超高層ビル地区とか、街区ごとに見ている人の性格とか課題とか全然違うと思うので、区役所の人員のリソースの都合もあると思うので、ちょっと中身が分からないとしか言いようがないですよ。

【委員】

先生がおっしゃったように、計画どおりは計画どおりでも、やっぱり目標値の設定の仕方とか、今言われた人員の理由とか、努力していることを評価して、計画どおりにしておくか、ぐらいですかね。

【部会長】

物差しについてはちょっと検討されたいと、直っているらしいけれども、というぐらいな感じで。ちょっとそのような感じで、取組の方向性ですとか意見・感想は調整したいと思います。ありがとうございます。

12ページまで行って、最初に戻る形にしたいと思います。434の新宿駅周辺地区の利便性向上は、こちらにも有益な意見が多いので、個人の意見じゃないような形でまとめて。委員の、理解が深まると考えられるとか思われるとかにするのと、対策を推進されたい……

【委員】

委員が書かれたのは、私は非常に重要だと思いますね。この観点は残して。先生がおっしゃるのは、理解が深まるとかという表現方法を言われているんですか。

【部会長】

はい。思いましたというと部会とか委員の意見じゃないので、思いましたという1人が思ったみたいなので、最後の文言だけ変えて、残せればと思います。

「学校の教科書のように」というのはどういう趣旨でしょう。

【委員】

よくマス目で仕切って、A1とかA5とかって、よく地図であるじゃないですか。ああいうふうな、要は、あの地図、すごく分かりやすいんですけども、ぱっとビル名が、このビルどこだろうと思ったときに、逆に探せなかったのが、索引というか検索というか、そういうのがあればもっと見やすくなるのではないかと。よく西口にいと、外国の方とか観光客の方とかにビル名とかで聞かれるんですよ。自分も分からないので、マップを見て、どこだったっけ、ここら辺かな、みたいな感じなので、住所から探せるようにしていただければ、地元でない方たちが利用しやすくなるのではないかと。

【委員】

検索方法を改良してほしいとか、簡単に言うと、そういうような。

【委員】

そういうことですね。

【委員】

ビル名もできるし、いろいろな方法での検索方法を検討してほしいとかでどうですかね。

【部会長】

検索方法を検討されたいとか、検索方法の改良を検討してほしいとか。

【委員】

何でもできればいいんですよ。おっしゃるようなビル名でもできるし、住所でも。

【委員】

だから、利用者が何かから地図を見るかといったとき、何を調べるかといったときに、それを基に逆の発想で作って。すごくいい地図だと思うんです、分かりやすく、かなり大きめに書いてあるので。あと、どこで配っているのかもちょっと分からなかったの。

【委員】

そうすると、ターミナルマップには限界がありますよね、結構、検索方法となっちゃうと。

【委員】

もちろんあると思います。だから、一般的に人がどういう目的で利用するかというところを中心に、分かりやすくしていただければ。地元の人だと、何とかビルってここら辺だよなというのは大体推測できますよね。じゃなくて、全く知らないゼロの人が、住所とかお店の名前とかビルの名前を見て、どこだろうと分かるように。

【事務局】

今お配りしているターミナルマップにビル名は書いてありますが、これとは違うんですか。

【委員】

ビル名は、大体分かっている人は、ここら辺だよなと探せますよね、ビル名。住友ビル、ここら辺だったなとか。でも、全く土地勘のない方が来たときに、住友ビル、どこだろうといったら全部見なきゃいけないので。ここに、住友ビルは、この四角いマス目にしたときのA3 とかとあれば、よく地図ってそうになっていませんか、うまく表現できませんけれども。

【事務局】

区画が表現されていますね。

【委員】

そうすると、住友ビルはA3だから、ここだと分かるので、そういう何か検索があったらいいかなと。すみません、うまく何と言うのか分からないですけども。

【委員】

場合によっては、これは鉄道と組んでいるマップですよ。ただ、そこに広告収入というところちょっとおかしいですけども、もうちょっとこう利益もあってとか、思ったときに、お店さんと共同して広告、よくありますよね、地図の場所にちょっとお店の名前があって、そうするとちょっと経費的にもいいのかなとか、お店の宣伝効果とか。そこら辺はちょっと微

妙ですけどね、商業的なものが入ると。ちょっとそこら辺も考えたんですけども。

【委員】

マップの話で限定するのか、もっと幅広で考えるのかとなりますけれども、この場ではもしマップだけに限定するのであれば、今言われたように、あいうえお順で検索する方法とか、ビル名でとどめておくかですかね。

【部会長】

有益なので、さらに利便性の向上を図りたいとか、そんな感じでお願いします。

【委員】

お任せします。

【部会長】

これで一周しましたので、1ページ目に戻っていただければと思います。取りまとめなので、おおむね順調に進んでいるというのは5人とも一致しております、評価のほうは、個別の通り名だとかを出さずに、おおむね順調に進んでいるという包括的な書き方でよろしいでしょうか。

今後の取組の方向性に対する意見で、デジタル化のサービス……

【委員】

前回、デジタル化もという話だったので、工事していると結構変わりますよね、それを普通にマップとか、先ほどのああいう形にしてしまうと修正しづらいので、経費だけかかるので、ああいうのはもう、恐らく旅行客とかの方のほうメインだと思うんですよね、地元の人はいしょっちゅう通行しているから分かるので、旅行客の方は結構スマホとかも使われていると思いますから、デジタル化で分かりやすいような表示をしていただければいいのかなと思ったりしました。

【委員】

この間そういうふうに言っていましたっけ、所管の部の人か、ちょっと私記憶が。

【部会長】

私も誰が言ったかは覚えていないけれども、デジタル化という言葉は出たのでは。

【委員】

デジタル化するのはすごく簡単だと思うんですね、技術的に。いずれは恐らく地図とか何か、きちんとしたものも作るだろうと思うので、比較的可能なとちょっと思ったりしたんですけども。

【部会長】

早急にお願いしますはちょっと言葉が強いので、デジタル化も活用しつつ、利便性向上とか、旅行者とか、外国人にも分かりやすい内容に適宜更新、デジタル化で、そんな感じでよろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【部会長】

3 ページ目に行っていただいて、委員のご意見が質問みたいな感じで終わっていると思うんですが。

【委員】

18.6、確かに急に低くなっていた……

【委員】

成果指標の内部評価の欄の 2 ページ目のところを引用したのではないかと思いますけれども、18.6%。

【委員】

これはアンケートの結果ですよ。

【委員】

そうですね。

【委員】

説明受けたときには、さっき話があったように、工事で、道が変わったりしているから、アンケートを取ったら、それが逆に使い勝手が悪いというふうには評価されたから、下がったのではというふうにおっしゃっていましたね。当面上がらないんじゃないかとか。

【部会長】

こちらは質問、回答していただいたということで、消しても大丈夫でしょうか。

【委員】

そうですね、大幅な工事は必要なのではと思いますが、通行しやすさ、回遊性が損なわれるのではなくて、もっとうまく誘導していただきたいなと思います。よその区のお話で申し訳ないですけども、駅のホームを降りて外へ出るのに、あっちへ回され、こっちへ回されして、それこそぐるぐるいろいろなところを回されて、やっと出た思いがあって、次の乗換えの電車に乗ろうと思っていただけれども乗れなかったというようなことがあったんですね。駅ターミナルにおいて、工事とはいえ、やはりますます回遊しづらくなっていくのでは、ちょっと不便を感じるので、そういうものを考慮した上で工事を行っていただきたいという要望であります。

【部会長】

質問の部分は、なお以下は消して、要望の形で、その他意見の欄に残すような感じで、お願いします。新宿と渋谷は難しいですね、乗換えがすごく難しい。

ありがとうございました。

Ⅲ-2 で始まる塊を見ていただければと思います。誰もが安心して楽しめるエンターテインメントシティの実現。4 ページ目を見ていただければと思います。

40 の歌舞伎町のまちづくり推進は、5 人とも計画どおりなので、評価は計画どおりだと思います。いろいろ書いてあるんですが、個別のことはあまり出さずに、評価については計画どおりとさせていただきます。

取組の方向性は、まとめられるところはまとめるという形でよろしいでしょうか。

その他意見のところは、おっしゃるところはごもっともと思うんですけども、多分いきなり読んで、「達成度が「－」となっている表現は分かりにくい」というのは、多分分かりづらいので。

**【事務局】**

ちょっと質問していいですか。ご意見で、歌舞伎町の計画事業の指標は、個別施策の2つの成果指標が合わさったものだということを補足したらよかったなということなんですけれども、これはヒアリングで所管課が言っていたんですけど。

**【委員】**

そうです。ここのつながりが分かれば、その質問はなくてよかったんですけども、この推進というのが、ここの2ページの下の方の指標1、指標2が合わさっていて、ということを説明いただいたと。これはどちらも達成しているんで、達成度は「－」じゃなくて100%でもいいんじゃないかと思ったんです。そこがつながりが分かる一文があれば、指標としてもっと、次年度から分かりやすいかなと。

**【部会長】**

ホームページとかでいきなりこれが載ってまして、我々はもらった資料とか意見とかを聞いて書くんですけども、区民の方がいきなりこれを見ると、達成度が「－」になっているというのは混乱するのかなとちょっと思いました。

あとは、委員のもそのまま残す形で。ト一横キッズは、文言とかを調整しながら、残す形でお願いできればと思います。

**【委員】**

大事なことを書かれていると思います。

**【部会長】**

6ページ目の436にいていただいて、歌舞伎町安全・安心対策事業で、「女性が利用しにくいと聞いた」というので。

**【委員】**

今はもう改善されたようなんですけども、一時期すごくLGBTQのトイレ問題があったと思うんです。男性のトイレはそのまま、女性トイレをLGBTQ用にされてしまうと、女性のトイレがないわけですよ。女性はトイレ時間、正直、長いじゃないですか。なのに、女性のトイレにLGBTQの人が入ってくると。それが特にト一横の歌舞伎町タワーで大問題になっていて、これはユーチューブで実際の映像を見たんですけども、トイレの中に男性がいっぱいいるんですよ。用もないのに、終わった後に洗面台のところ集まって男性がたむろするみたいな、女性を待っているみたいな。

女性のほうがトイレは絶対必要数足りないんです。にもかかわらず女性のトイレにLGBTQの方が入ってこられると、それはちょっと女性からすると困る。なので、ここに載せちゃったんです。歌舞伎町で結構問題になっていたの。ちょっとずれているかもしれない

ですけれども、犯罪も怖いなど。

**【部会長】**

男子トイレと女子トイレがあつて、それと別にある車椅子とかでも来られる誰でもトイレがあればいいんじゃないですかというのかと思ったんですけれども。

**【委員】**

実際行ったこと、使ったことあるので。要は、男性でいう大のエリアを男女とも入れようにしたんですよ、当初は。だから、男も女も一緒に入って行って、個室は別ですけれども。それが、男性がたむろしているから、警備員を前に立たせて、男女入れるんだけれども、ここからここまでは男性が使っていい個室とか、だから、女性がずらっと並んでいる横を、大をしたいときに横を通って行って、男子のところはちゃんと確保されているので、女の人が並んでいるのに入ってとかというのになって、最終的にそれでも変な感じなので、多分完全に分けたと思うんですよ。2階、3階はその型式になって、すごく話題になったんですよ。ただ、一方で地下のライブハウスとかは、同時期にやっているのに、男女きっちり分けて、女性のトイレがすごく多くて、全然ストレス感じないところで、同じビルで全然設計思想が違って、ただ、あれはやっぱりビルのオーナーさんと入っているテナントさんが設計しているから、区の指針はあるかもしれないですけれども、公衆トイレだったら区の管轄でしょうけれども。ただ、すごい課題だと思うんですけれども、どこに載せるかで。

**【委員】**

やっぱりトイレって犯罪も起きやすい、いろいろな意味で、性犯罪以外にもあるので、安全対策としては早めに手を打っていただくほうがいいかなと、ちょっと。この問題はとても怖いです。

**【委員】**

お二人の意見をお聞きすると、ビル内のトイレの在り方はビルによって違うし、できていないものもあるし、できているビルもあるけれども、私たち委員としては、区ができることを言ってあげないと、あまり固有名詞をあげつらつても、なかなか限界があるので、ビル名を限定せずに、区がこういうふうに言ったらどうですかみたいな言い方に切り替えてみたらどうでしょうか。

**【委員】**

今後トイレを整備する場合には、そこら辺を配慮していただきたいという感じでいいですかね。

**【部会長】**

ほかにもトイレ、どこかで書いていらっしゃった気が。

**【委員】**

2ページ目で書いていらっしゃる。

**【委員】**

そうですね、同じことです。

もしあれだったら、こっちでいいですよ、削除していただいて。

**【部会長】**

6 ページの 436 では載せなくて、2 ページ目にいったところで、また後で検討という感じで、437 のほうに。437 も一まとめにできるかと思うので、これをまとめるような形をお願いしていいでしょうか。

**【事務局】**

質問してよろしいですか。436 の意見って、引き続きやってくれという意見なんですかね。

**【委員】**

そうですね、やはりこれ、都の事業に移したから云々と。

**【事務局】**

区がやった後で都がはるかに大きな成果を出す事業を開始して、今そっちにお客さんが流れていますというような説明を所管部がしていました。

**【委員】**

あの説明会のときにもちよつと言ったと思うんですけども、都がやったからもう都へお願いしちゃいますだけではなくて、やっぱり区のお膝元ですので、このタウンマネジメント事業を含めて取り組んでいく必要が今後もありますということで、あのときは援助金だとか給付だとか、そういう件が多かったと思うんですけども、それも含めてやっぱり区としても地元の商店街などと協力して進めていく必要があるのではないかと感じて、書かせてもらいました。

**【事務局】**

これ以外にも歌舞伎町の安全安心に関する事業ってたくさんあって、歌舞伎町タウンマネジメントとか東京都、あるいは商店街振興組合、いろいろな人たちと連携してやっているわけなんですけれども、いま記載されている意見は、その助成を続けてくれというメッセージに聞こえるんですけども、それは委員が意図したとおりのことでしょうか。

例えばですけども、東京都がやっているけれども、そこに当てはまらない実績が令和 5 年も 1 件あったようだから、ニーズがあるから続けていきなさいみたいなことだったら、分かりやすい。そういう理解で合っていますか。

**【委員】**

たしか危機管理課長か何かがそのような説明をされたと思いますので、東京都が審査したけれども、審査に漏れた団体があって、それを区のほうで支援をするというのですね、ですから、全くもう都がやるので都にお任せではなくて、そういう漏れたようなものもありますので、やはり区としても行う必要があると思いますので、続けてほしいということです、たしか、新宿歌舞伎町に訪れる若い女性たちが、新宿区の区役所のお膝元で不幸になってもらいたくないと、このようにお話もされておりましたので、何らかのやはりそういうつながりは今後も持っていただきたいと思います。

**【部会長】**

437 も大体一つにまとめられるかと。

それはまとめていただいて。438 も2つ、まとめられると思います。

7 ページの 439 のほうは、ちょっときつい書き方なので、これは書かないほうがいいかなとちょっと思いました。

【委員】

すみません、実体験を、正直に書いてしまいました。

【委員】

何か魅力がないというか、発信されていないということですかね。

【委員】

資料から、イメージはいいイメージなんですけれども、実際よく通るんですけれども、あまり繁栄しているような感じもしない。たまにオープンカフェにはなっていますから、そういうときは人も若干集まってはきますけれども、すみません、何か足りないといしか言えないんですけれども。だから、あまり載せないほうがいいのかもかもしれません。

そんな力を入れているような感じがしない。かなりあそこは前から通りますし、頻繁に昼間も夜も通りますけれども、たまに路上ライブというんですかね、夜とかはやっている方もいますけれども。

【委員】

魅力がないというより、せっかくやっているから、それを区民の人にもっと伝えるとか、そっちの方向にしたらどうでしょうかね。

【委員】

おっしゃりたいこと、すごく分かるんですよ、風景がもう変わらないんですよね。多分業者がもう何年かずっと一緒に、競争原理が働いていないのか、多分それで見え目が変わらずかなと。すごく昔からのクレープのキッチンカーですよ。多分もうずっとこの商店振興組合とやっているか、書いてあるから、ずっともう一緒にのところで契約して、やり続けているのかなと思ったりします。すごく感じが分かります。

【委員】

さっきもここを通過してきたんですけど、オープンカフェというかキッチンカーのクレープ屋さんがちゃんと出てはいましたけれども、やはり荷さばきの車がたくさん停まっっていて、だから何か中途半端だなと。もっと大々的にもう時間を区切って、あそこは何かイベントが自由にできるとか、路上ライブじゃないですけども、そういうのがどどんできるとか、そういう、もっとまちのにぎわいとか潤いとか、そういうものを創出できる、もっと何かあるんじゃないかなと私も思います。

【部会長】

上のほうにある意見を足して、活性化だとか啓発とか周知とか、PRとかをお願いしますとかいう感じでいいでしょうか。

それでは、1 ページ目に戻っていただければと思います。最初の意見ですが、お一人が順

調に進んでいる、ほかがおおむね順調に進んでいる、いずれにしてもいい方向なんですけれども。

**【委員】**

私が順調に進んでいるとした理由は、先ほども言いましたけれども、この4つの分類が、順調に進んでいる、おおむね順調に進んでいる、やや遅れていると、一人一人の感覚が違おうと思って、おおむね順調に進んでいるというのは、私の感覚で、6割から8割ぐらいだろうと。それで、順調に進んでいるというのは、100%できていなくても8割ぐらいはできていれば、世の中一般的ですよ、会社だって、8割できていれば順調に進んでいるに入るだろうと。そうすると、できていないところもありますけれども、私は8割ぐらいはできているんじゃないかと、そういうふうな理由です。だから、皆さんの感覚によって、順調に進んでいるのは100じゃないと駄目と思われていけば、私もおおむねに下げてもいいですけども、僕は8割ぐらいはできてるんじゃないかなというのが、思った理由ですが、冒頭、多数決だということなので、おおむねにしても、それは感覚の違いですから。

**【部会長】**

多分5段階にしたら、みんな4ぐらいだと思うんですけども、4段階にして3にするか、4にするか、4か3かちょっと悩むところで、多分5段階だとみんな4ぐらいの感じ。

**【委員】**

最高点じゃないけれども8割はできていると、そこで、ここにも書きましたけれども、8割以上というふうに自分は思ったのと、そういう理由です。

**【部会長】**

じゃ、おおむね順調にさせていただきます。

**【委員】**

この歌舞伎町の問題は、いろいろな問題がまだ残っていると思うんですよ。まだ道半ばだと思うんですよ。ホストクラブの問題で結構しょっちゅうニュースになったりもしていますし、客引きについて行かないでいつも流れていますし、そういう対策を含めて、やはり今後も取り組んでいく必要があると思いますので、順調に進んでいるではなくて、まだおおむねかなと私は思います。

**【委員】**

あまり長く説明するのもあれですけども、私たちは別に100%できている、できていないを評価するんじゃなくて、区民から見て、課題はたくさんあると思うんですよ。ただ、課題に対して区の職員の方とかが努力している。努力しているという度合いが高いと僕は思った。100%じゃなくても、時間がかかっても、そこに向かって個別に努力している。努力しているプロセスは8割ぐらいあるんじゃないかなと思ったということです。おっしゃったように、課題はありますけれども、私は努力しているとこの間のヒアリングでは感じましたけれども。問題点は認識されているしね。

**【委員】**

大いに努力されていると私も感じます。

【委員】

その一つとして、今の助成金援助の問題とかが都に移行しちゃったから区は手を引くみたいなの、そんなニュアンスあったので、それではやはり、区民としてね、何らかやっぱ関わっていく必要があると思いましたので、そういう形で。

【委員】

今の問題も、反論するわけじゃないですけども、それについても僕は逆に評価していて、区の人たちは、助成金、都もあるけれども、区もあるけれども、やっぱり都のあれがあってできない理由をおっしゃってましたよね。単に自分たちがやっていないじゃなくて、そういう補助金との兼ね合いがあって、新宿としては精いっぱい努力しているというのはおっしゃっていたので、評価したと、そんな感じです。私の感じ方ですけども。

【委員】

そうですね、確かに全国から来る子供たち、若い女性を中心とした、そういうト一横キッズの問題とか、そういうふうな状況になっていくのはやはり忍び難い。何らか新宿区民として、幾ら全国から来たにしろ、歌舞伎町に来たわけですから、いろいろな思いがあって来たんでしょ。やはりそういう、極端に言えば、相談所を開設するとか、そういうふうなケアをもっと行っていただければなという思いです。

【部会長】

ありがとうございます。こちらたくさん事業名があるんですが、整理した感じで評価をまとめていただければと思います。

あと、今後の取組に対する方向性なんですが、こちら大体。

【委員】

さっきおっしゃられたトイレの問題は、ここに記載すればいいんじゃないでしょうか。ただ、固有名詞を出すのかどうかはちょっと。

【委員】

そうですね、そこら辺はやんわりと。今後のとか何か。

【委員】

歌舞伎町のビルとか。幅広のほうがいいかもしれません。

【部会長】

既存のトイレ環境は維持しつつLGBTQに対応した整備を進めていただきたいと。

【委員】

そうですね、それでしておいてください。すみません。

いきなりトイレの書き出しになっていますけれども、やっぱり安全・安心の観点からという前置きを入れていくと、区民の人が読んで、配慮が深いというか、犯罪の減少のためとか、あれが必要なんじゃないでしょうか。

【部会長】

ありがとうございました。

その他の意見・感想、3ページにあっていただいて、「合計7回と数が合わない」というのは質問ですか。

【委員】

そうですね、そのとき分からなかったんですけれども。

【事務局】

事務局のほうから補足させていただきます。1月24日から毎週水曜日、カウントしていくと7回にならないということかなと思うんですけれども、天候によって、やらないときもありまして、恐らく雨等で、雨だと中止にしているのです、そういったところで数が合わないのかなというふうに。これは所管に確認したわけではないんですけれども、結構中止になっていますので、そういったカウントになっているのかなと思われます。

【委員】

基本、毎週という計画は間違いないということですよ。

【事務局】

それは間違いないです。

【委員】

分かりました。じゃ、これは削除していただいて。

【部会長】

ありがとうございます。Ⅲ-2のグループはこれまでにしたいと思います。最後に、Ⅲ-5の環境道路の整備から始まる場所をお願いいたします。

【事務局】

今回の会議、4時までですが、どうしますか。

【部会長】

そんなにはオーバーしないと思うんですが、よろしいでしょうか。

【委員】

ごめんなさい、今日は用があるので、あとをお任せしてもよろしいでしょうか。

【部会長】

お任せで大丈夫でしょうか。

【事務局】

皆様のご判断で。

【委員】

あさっても予定されていますか。

【事務局】

予定はありますけれども、もうちょっとということであれば。

【委員】

道路まで行っちゃう。

【委員】

退室されるなら、先におっしゃりたいことをお聞きしたほうが。

【委員】

すみません、何かまた変な書き方があれば。

【部会長】

聞きたいことを先にちょっと何点か、すみません。6 ページで、45 の②なんですけど、今後の取組の方向性に対する意見で、ちょっとこの辺難しいかなと思ったのは、視覚障害者の点字ブロックを設置すると、それが凸凹があるから車椅子の人にも不便で、しっかり意見を聞いて、というのがあるんですけども、どっちかを立てるとどっちかが。ちょっと難しいかなと。

【委員】

すごくこれは難しいので、ちょっとそちらのほうに一時期関わっていたことがあって、どうしても見えない方は白杖と点字ブロックが頼りなんですよね。ですが、凸凹は今度、車椅子の方にとっては非常に、車輪を持っていかれるので、難しいと。そこが障害者同士の干渉が起こってしまっていて、非常に難しい課題だとは思うんですね。だから、そこを当事者たちの意見をきちんと聞いて、少しでも生活しやすいバリアフリーの道づくりに生かしていただければなど、今後のお願いみたいな形なんですけれども。当事者たちがどうしてほしいとか、これならいいよとか、そこら辺をちょっと意見をいただくことが第一かなと思って、書かせていただきました。

【部会長】

自分が担当者だったとして、期待しますと言われたら、どうしろというのだと、ちょっと。すごく大事な問題なんですけれども、どうしようかなと、ご相談しようと思っていたんです。

【委員】

当事者たちどうなのかというのをしっかり意見を聞いてあげられたら、意を酌み取って、していただいて、例えば点字ブロックの場所を、歩道の道幅の車椅子が通るところを避けられるようなところにつけられないかとか、何かそういうふうな、うまく言えないんですけども。

【委員】

これは新宿区に限らないことだから、東京都全体なのか、実例を調べてもらいたいとか。

【部会長】

ちょっとその辺検討させてください。

【委員】

そうですね、すみません。

【部会長】

もう一個だけ、453 で、9 ページの意見のところ、信号を猛スピードで歩道を走行したりとか、信号を無視して横断歩道を横切ったり、危険運転を目にします。管理指導をお願い

したいですと、区じゃなくて警察の仕事になっているかなというのをちょっと、どうしようかなと思ったんですが。

**【委員】**

適正利用ということで、今、車道の横に自転車専用道路みたいな表示がされたりとかして、ちょっとずつ棲み分けみたいなことをされていると思うんですけども、やはりまだ、お母さんが電動自転車とかで、子供を乗せていなくても、歩道を猛スピードで行ったりとか、とにかくスピードがすごいんですね。そこら辺は区のほうで指導なり何なりできないのかなとちょっとと思って、書かせていただきました。実際に新宿の西口、東口の道路、歩道を、信号が変わったから渡ろうとかといっても、自転車が行っちゃったりとか、結構自分も危険な目に遭いましたけれども、ほかの方もそういうことをされているのを見ているので、何かちょっといい方法が区のほうで、例えば啓発できるものがあればなど。たしか自転車のヘルメットの補助があったと思うんですよね、区のほうで。そういういろいろな接点があった場合に、何か啓発できるものがあればなど、安全運転に努めてくださいみたいな。警察とはまた別に区でできるようなことがあれば、対応していただければいいかなと。あと実際に、ウーバーイーツとぶつかったこともあったりして、そこら辺も、ウーバーの企業さんとか、あと商店街の方とかに、ウーバーを頼んでいるところに、何かチラシなりポスターなりで、安全運転を心がけてほしいみたいな、そういうのを掲示できればなど。

**【部会長】**

自転車運転マナーの啓発という感じの。

**【委員】**

言葉的に、そうですね。学校とかでもそういうのはやれると思うので。

あと、10 ページの 459 のところの、道路の維持管理のところなんですけれども、歩道のごみ、ポイ捨てとかごみ、たばこの吸い殻とか、結構道に散らばって行って、例えば文化センターの前とかは、区のほうで雇ってというか、お願いというか依頼して、ごみの清掃をされたりとか、そういう場所もあるんですけども、工事か何か、作業着みたいな格好で休憩して、石垣とかへりに座って、たばこを吸ったりとかいう姿を見ているんです。そうすると、やっぱそういうところに落ちていくので、どこにどう働きかけたらいいいのかが分からないんですが、新宿区内で工事をされているような業者さんとかに向けてそういうのを発信するのか、何をしたいのか分からないんですが、そういうこともちょっと考えていただければなど。民泊とかも多いので、民泊の方が増えるとごみも増えるんですよね、なぜか道端に。なので、そういう許可、民泊も多分届出が要ったと思うので、そういうときに、利用者の方にこういうものを徹底してくださいとか、マナーを伝えてくださいとか、何かできればなどというふうに思っております。すみません、優しくやんわりと何か言っていただければ。

**【部会長】**

こちらのほうでまとめさせていただきます。

**【委員】**

次は10月の全体会議になりますか。

**【事務局】**

今日アナウンスする予定です。今アナウンスしていいですか。

**【部会長】**

すみません、ちょっと延長になっちゃって申し訳ないんですけども、事務局からのお知らせを先にお願ひできますか。

**【事務局】**

全体会が10月21日月曜日、9時半から12時、それから10月25日金曜日の13時から15時30分、この2枠でご予定をお願いいたします。

扱う内容としては、今部会で取りまとめていただいている評価結果を、部会ごとの評価案として固まったものを全員が集まっている中で紹介し合って、委員会の評価として固めるというのが議会の一つ。それからもう一つは、5月の最初の全体会で稲継会長がおっしゃっていた、現在の行政評価制度の見直しに関して、現在、学識委員の先生方と事務局で見直しに向けた提言の内容を検討しております。その検討結果をこちらでご説明して、ご意見いただいて、委員会からの提言として固めたい。この2つの議題を扱わせていただきたいと思います。もし10月21日で終わった場合は、10月25日はキャンセルとなります。

次の予定が区長報告で、稲継会長から評価結果を吉住区長に報告していただく機会を設けます。これを11月14日木曜日、10時から10時30分の30分間で予定しております。場所は区役所3階の区長室です。こちらは任意の参加となっておりますので、ご参加されたい方はご参加いただければと思います。

あと、今議論していただいている部会の評価案についてなんですけれども、本日の議論を踏まえて事務局で評価を取りまとめさせていただきたいと思います。取りまとめた評価案を、まず竹内先生にご確認いただいて、確認が終わったものを皆さんにご確認をお願いするようにしますので、よろしくお願ひいたします。

事務連絡は以上です。

**【部会長】**

ありがとうございました。

Ⅲ-5をまた、最初を残して4ページ目から順に見ていければと思います。

4ページ目の44なんですけど、こちらは5人とも計画どおりだったので、こちらは計画どおりとさせていただいて、評価もまとめられるかと思うので、問題ないかと思っています。

あと、その他意見・感想の最後の、「区画街路を含む建築整備が今後も続くことが予想されます」、「予想されます」で終わっているのを、ちょっと修正できればと。何かご意見とかがあるでしょうか。

**【委員】**

百人町三丁目地区における地区計画のことが書いてあると思うんですけども、この中

にある、区画街路3号、4号、6号、12号、このあたりのことをちょっと書かせていただいたんですけれども、この地域全体として広域避難場所にするためにいろいろな整理をして、できるだけ空間を広くして、大分進んではいるんですけれども、住宅が今ここに密集しているこの地域の取組は相前から取り組まれているけれども、これが今後どの程度続くのか、防災上整備していくので続くのか考えたときに、今後もそういうことがずっと延々と続いていくと思われそうですみたいな、そういう意味で書いたんですけれども。

【部会長】

続けていただきたいとか。

【委員】

実はここはポケットパークといって、密集している住宅が空き家になったときに、そこを区が買い取るかして、そこを公園にして、ミニ公園みたいなのを作ったりしているんですね。建て替えがあったりしたら、この道路の整備だとか何とかを踏まえて区が取り組んだりしているんですけれども、そういうのをしたときに、この区画の中がまだ今後も続くであろうと予想されるので、そういう意味でここに、建築整備が今後も続くことが予想されますと書いたんですけれども、続けてほしいとか中止してほしいとか、そういう意味ではなくて、着地点があつと何年ぐらいかかるものなのかなという意味合いを込めて、書かせてもらったんです。

【委員】

計画全体と進捗状況が分かるように明示してほしいとか、そんな感じ。

【委員】

そういう意味ですね。

【委員】

分かります。区民の人がどこまで進んでいるのか分からないし、着地点が分からないから、進捗状況を。

【委員】

どこかで発表しているんじゃないですかね、僕たちが知らないだけで、所管部署にあるんじゃないですかね。

【委員】

極端に言えば、この地域を共同建て替え住宅みたいに上にどんと伸ばして、皆さんそこにとりょうな、今、西新宿地域で行っているような防災上からした上で、地域共同建て替え住宅、建て替えビルみたいなのを、そういうことも考えられるのではないのでしょうかという意味合いを込めて。どこかにそういうふうなニュアンスで書いたのもあったと思うんですけれども。

【部会長】

書き方的に、計画的な整備をお願いしますとか、迅速化とか早期化とか、あと見通しを示せだとか、そんな書き方ですかね。

**【委員】**

そうですね、やはり区の事業として、区内の約 50%が細街路だというふうになっているんですけども、それが改善するには相当な、やっぱり考えを変えて、区が取り組んでいかないと、なかなか細街路問題は解決しないのではないかなと。42 条の 2 項道路だとか 3 項道路、4 メートル道路以下のことを 3 項道路の計画とか、あったりするんですけども、そういうふうなものを踏まえて、本当に区が真剣に取り組んでいかないと、ただ民間が建て替えると 50 センチ下がるのを待っているだけでは、相当たってもまだ解決が難しいのではないかなという意味合いを込めて、ちょっと感想として書かせてもらいました。

**【部会長】**

じゃ、計画的な整備をお願いしますという形で。

**【委員】**

そうですね。

**【部会長】**

ありがとうございます。これで 4 ページ終わりました、5 ページをお願いします。

**【事務局】**

この会場が 45 分までしか使えないので、そこをお伝えしておきたいと。

今の最後のって、その上でやっている共同建て替えとかも視野に入れてちゃんとやっていけというのは違うんですか。

**【委員】**

こちらから、共同建て替えにしろとかそういうことは言えないので、そういうのも。

**【事務局】**

要は、これと独立してもう 1 個、計画的に進めてくれという意見を書くかどうかということなんですが。

**【委員】**

百人町の地区計画のこの問題が随分もう長く、この周りは大分整理をされたんですけども、この地域が大分まだ残っているのが現状なんですね。これをずっとそのまま続けて、計画になっているから続けざるを得ないんでしょうけれども。

**【事務局】**

すみません、ちょっとこのまとめ方は一回、部会長と事務局で、よろしいですか。

**【委員】**

そうですね、そこはもう。

**【部会長】**

全体として計画的な整備をお願いしますとか、そんな形でいいでしょうか。地震がいつ起きるか分からないから、ゆっくりしていられないからという感じで。

**【委員】**

そうですね、今のところの上の今後の取組の方向性についてというところに、今言ったよ

うなことが、共同建て替えを含めてみたいなことをちょっと書かせていただいたんですけども、これだって私が、一つの案というか考えであって、区の地区計画というのはまたきちんとしたものでしょうから、じゃ、このようにしますと急には言えないと思いますので、うまくまとめていただければと思いますので、お願いします。

**【部会長】**

ありがとうございます。

5 ページ目にいっていただいて、人にやさしい道路の整備も5人中5人が計画どおりとなっているので、そうさせていただければと思います。評価については、まとめられるかと思うので、ちょっとまとめていただいて、5 ページ目はこれをお願いします。

6 ページ目にいっていただいて、6 ページ目も計画どおり、全員5人なので、これで評価のほうはまとめられるかと思うのと、委員のバリアへの意見は、関係者の意見を聞きつつ進めていただければと思いますみたいな感じで、ちょっとぼかす感じにできればと思います。

その他意見の、「新宿の顔である」というのも、顔の一つであるとか、中心の一つであるとか、ちょっとぼかす感じにさせていただければと思います。

7 ページにいつてもらって、道路の環境対策で、ここが面白いというか、計画以上が2人で、計画どおりが3人で、いい意味で、役所が出してきた以上に評価している人間が2人いるような感じのところになっています。こちらも多数決だと、計画どおりですけども、こちらは計画どおりでお願いいたします。こども特に評価は問題なくて、8 ページ目もまとめられるから問題ないかと思うんですが、ここで何かご意見あるでしょうか。

**【委員】**

この間委員がおっしゃっていた、これをもうちょっと広報でアピールすればというのは、これは私も賛成ですね。

**【部会長】**

頑張っているのにあまり知られていない感じがいたしました。ちょっとアピールを充填した感じで、2つをまとめる感じにさせていただければと思います。

駆け足ですみません。9 ページにいつてもらって、道路の適正利用で、さっき453番、私が、警察の仕事も区役所に言っているんじゃないかとちょっと言ったんですが、自転車マナーとか言い出すと難しいかと思うんですが、ただ、マナーの啓発は区役所でもできる仕事なので、意見はぼかすような感じで、自転車マナーの普及啓発を図っていただければと思います、みたいな形でしょうかと思います。

**【事務局】**

事務局から少しだけ。この453番の経常事業は、道路占用許可事務とか条例に基づく占用料徴収の事務で、ここでマナーを言うと、会話がちょっと成立しなさそうで、これの落着け先は、後ほどご相談させてください。

うまい落着けどころがないか、まず事務局で探らせていただいて、いよいよ厳しくなったら、ちょっとご相談をさせていただければと。

**【委員】**

ここに入れるのが難しければ、一番最初の表紙に持ってきたら。

**【部会長】**

そうですね、それもちょっと検討を。

**【事務局】**

この施策の隣のⅢ-6に交通環境の整備という施策があつて、昨年度この部会で実はやっただけですけども、そこがまさに自転車通行帯の整備とか放置自転車対策とか、そういうのをやっています、そっちじゃないのかというふうにならないように整理するにはどうしたらいいかというのを少し考えさせていただきます。

**【部会長】**

ありがとうございます。

それで、454の路面下空洞調査、これも残す形で、ちょっと書き方を改めて、まとめるような形にしたいと思います。

455番について、一番下のところの括弧で、「特に区民の生活権に係る場合」という、生活権というのが意味が分からなかった感じです。生活に大きく関わる場合とか。

**【委員】**

そうですね、基本的には生活に関わるということですけども、やっぱり区民、そこに住居に住んでいる人には、特に電気ガスや水道、下水道、そういうライフライン等を含めたものが生活権といえば生活権という意味で、生活権というふうに書いたんですけども、生活に関わるでも結構です。

**【部会長】**

そういった形で、ちょっと調整させていただければと思います、ご趣旨を生かす形で。

続きまして10ページ目にいくと、456、457、458は特に問題ないかと思うんですが、459、先ほどちょっとあったんですが、外国人旅行者のマナーとかルールとかをここで言うのか、道路課の方に言っても困るだろうしというので、ちょっと。

**【委員】**

これもさっき事務局の方がおっしゃったように、マナーのことより、この459は修繕のことを言っているから、場所を変えて。

**【部会長】**

そうですね、ありがとうございます。

**【委員】**

たばこの吸い殻とかはマナーの問題なので、今おっしゃったように、道路自体の工事やハード的な面じゃなくて、ソフト的な面としての意味合いなので、やっぱりここではハード的な面というふうに捉えたほうがよろしいと思います。

**【部会長】**

こちらはちょっと移させて、まとめさせていただければと思います。

次、11 ページにあって、こちら最初にお配りした紙に沿って進めさせていただければと思います。460 は先ほどおっしゃったセットバック、建て替えを待つのではなくて積極的という話ですね。460 は取りあえず残す形で。

最初に戻っていただければと思います。1 ページ目、ここで、順調に進んでいるが1人で、おおむね順調に進んでいるが4人なので、これはおおむね順調に進んでいるにさせていたきたいと思います。評価についてはまとめて。

3 ページにあって、今後の取組の方向性に対する意見で、ここで、点字ブロックと車椅子や杖を利用する方と干渉する部分があります、ここに持ってくる形で、先ほどののは消して、最善策を模索してほしいというのはちょっと、文言を考えたいと思います。関係者の意見を聞きながら進めていただきたいとか、そういった形にしたいと思います。

あとは、その他意見・感想については、先ほどの委員の広報の話が出てくるので、こちらを生かして、委員の前段が、ごもっともなご意見で、歩いているときに、確かにここが国道とか都道とか意識している人はあまりいない。あと、23.0%と低い指標。生かすとしたら、あまり道路管理者とか領分とか考えずに、連携して整備を進めてくれみたいいな形でよろしいでしょうか。

#### 【委員】

そうですね、やはり細街路の問題だったり、極端に言えば、歌舞伎町から向こうの大久保のほうへ行く道にしる、やっぱり凸凹だったり、結構私道部分が多いんですよ。だからといってそのままになっていても、歩く人がここは区道ですか、私道ですかとはほとんど考えないし、道は凸凹で通りにくい、歩みにくいというような結果として、この指標として、歩みにくいというふうな数字に表れているのではないかなと、このように考えているんです。ですから、見るとこだけをきれいにするのではなくて、そういう細街路の問題とかいろいろな、総合的に判断して区も取り組んでいかないと、口では歩きやすい誰もが安心して安全な道をとというふうに言っているけれども、実は言葉どおりには行っていないですよというのが、区民から見て低い評価になっていると思われま。

#### 【部会長】

歩行者からすると、都道とか区道だとか私道とかはあまり考えていないので、あまり管轄にとらわれずに道路整備を総合的に検討してくださいとか、そんなような形で進めてよろしいでしょうか。

#### 【委員】

要するに、分類するというより、必要なものは整備してほしいということをおっしゃりたいわけでしょう、区別してほしいというんじゃなくて。

#### 【委員】

だけど、私道は手をつけませんよと、こういう形になっているんですよ。

#### 【部会長】

歩いている人から見たら、管轄はあまり関係ないから、それをやると満足度も上がるんじ

やないかというのを、ちょっとぼかした書き方で。

ありがとうございます。これで一応一周できたかと思います。全体的にご意見があれば。

**【委員】**

大丈夫です。

**【部会長】**

ありがとうございます。

では、これで終わりにさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

<閉会>